

小1 国語 出題のねらいと対策

1 かんじのよみとり 92.5%

ねらい：漢字の正しい読みができるかを問う。

分析と対策：(3)の「左」は、対になる意味を持ち、形も似ている「右」にも注意させてください。

2 かんじのかきとり 93.1%

ねらい：漢字を正しく書くことができるかを問う。

分析と対策：(3)「雨」は、点画の数や位置、向きに注意させてください。

3 くとうてん 49.3%

ねらい：句読点についての知識を問う。

分析と対策：まず、句点（。）が必ず文末にくることを確認します。次に、読点（、）が文に区切りを入れる符号であることを意識させます。読点を打つ位置については、「声に出して読むときに、どこで間をとるとわかりやすいか」と考えさせるのがよいでしょう。長い文章を句読点なしで書いたり、区切りなしで朗読したりするなどして、区切り符号がないと文章が不自然になってしまうことに気づかせてください。

4 カタカナでかくことば 90.0%

ねらい：カタカナの正しい表記ができるかを問う。

分析と対策：まず、カタカナについては、五十音のすべての字が正しく表記できるかを確認してください。また、カタカナで書くことばには、ほかにどのようなものがあるかを考えさせてもよいでしょう。その際、「ツ」「ン」などの点、はらい、はねの向き、拗音・促音の書き方、濁音や半濁音の書き方に注意させてください。

5 なかまのことば 76.7%

ねらい：ことばの種類についての知識を問う。

分析と対策：それぞれのことばが何を表しているかを考えさせることで、同じ仲間にはどんなことばがあるのかを見つけさせる問題です。(1)は色を表すことば、(2)は一日の中の時間帯を表すことば、(3)は動作を表すことばの集まりです。

6 文しょうをよむ 55.7%

ねらい：登場人物の心情や文章の細部を読み取る力を確認しながら、文章の内容を問う。

分析と対策：まい子が、学校の朝礼でけんだまを発表し、三回目の挑戦で見事に成功するという物語です。(1)は、まい子様子から気持ちを読み取る問題です。いよいよ発表という場面で、みんなの注目を集めるまい子が、緊張で手をふるわせていることを読み取らせてください。(2)は、まい子が玉を受け損ねて失敗してしまい、みんなががっかりしたという話の流れをおさえさせてください。(3)は、まい子がけんだまにまた挑戦しようと神経を集中させていて、周りの声が耳に入っていないという様子を理解させてください。(4)は、「三回めのちょうせんです。～玉は大ざらにのりました」という部分に着目させてください。(5)は、文章全体の内容理解の問題です。選択肢のどこが適切・不適切かを、丁寧に確認させてください。

全体の平均点は72.3点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。

個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。